

学科名	電気通信工学科						
科目名	電気電子数学演習						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)・必修科目(電気エネルギーコース)・必修科目(情報システムコース)						
担当者	中野 吉正・喜屋武 毅						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・初等関数を微分することができる。 ・合成関数の微分法を使うことができる。 ・関数のグラフを描くことができる。 ・不定積分の基本公式を使うことができる。 ・置換積分法、部分積分法を使うことができる。簡単な定積分の応用問題が解ける。 						
日程と内容	9月20日 導入, 成績評価の方法, 関数, 関数の積 9月27日 逆関数, 極限 10月 4日 導関数 10月11日 種々の導関数(1) 10月18日 種々の導関数(2) 10月26日 テーラー展開, 関数の近似 11月 1日 導関数の応用(運動学, 電気回路) 11月 8日 原始関数, 不定積分 11月15日 置換積分・部分積分(1) 11月22日 置換積分・部分積分(2) 11月29日 定積分(原始関数による計算) 12月 6日 定積分・広義積分 12月13日 定積分の応用(面積, 体積) 12月20日 定積分の応用(変位と速度, 実効値) 1月10日 総合復習 1月24日 定期試験						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	50%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	到達目標は授業を通して達成できた。また、個々の受講者の到達度は課題と定期試験で評価することができた。						
反省点	毎週の課題の採点を通して、学期の途中から全然理解が進行しない学生が一部に見られた。これらの学生については時間外に個人指導を受けるように呼びかけたが、指導を受けた学生は少なく、効果も乏しかった。もう少し早めに手当てにとりかかるべきであった。						
来年度の計画	今年度と同じ内容、同じ方法で授業を進行させる。ただし、授業中の個人指導の時間をもう少し増やしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	受講者の興味をより引きつけるには、定積分の応用にもうすこし時間をかけたいのだが、スケジュール的に余裕がない。教科書はプリントの例題を復習の時間にもっと解いてほしかった。						
履修登録者数	80名	定期試験 受験者数	73名	合格者数	62名	合格率	85%